

## 北九州市立藍島保育所 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月9日(水) 13:00~16:30
- 2 場所 小倉北区役所(西棟)7階 特別会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 阿南構成員、河崎構成員、大塚構成員、  
田中構成員、田村構成員、小林構成員  
(事務局) 子ども家庭局認定管理担当課長、施設調整担当係長

### 4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出
- 応募団体(NPO 法人いっしょに)より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答を実施

#### 【以下、質疑応答内容】

- (構成員) 安全対策や防犯などを考えたときに、火災や不審者対応の際、島内には警察や消防といった緊急時対応に関する施設はあるのか。また、保育の現場で子どもが骨折や出血を伴う怪我があった救急の際に、どのような対応ができるのか。
- (応募団体) 藍島には消防署はないが、消防団がある。また、診療所もあり、医師は週に1回、看護師は常勤で働いている。緊急性が高い場合にはドクターヘリもあるので状況に応じて対応ができると考えている。
- (構成員) 安全な保育所運営のため、台風や地震などの災害に対する対応が求められるので、災害があった際の避難方法や、ネットやアプリなどを使って保護者に連絡するなどといった体制も整えていただければと思う。
- (構成員) 藍島保育所に入所があった場合、小学校への接続はどのように考えているか。
- (応募団体) 現在、藍島小学校は児童がいないため休校中である。今後、藍島保育所に子どもが入所し小学校への入学が予定される場合は、教育委員会と連携して対応していきたいと考えている。また、藍島小学校ではなく、小倉北区内の小学校への入学を希望している場合は、体験入学などを行っていきたいと考えている。
- (構成員) 過去に体験入学などの対応をしたことがあるか。
- (応募団体) 現指定管理者の母子寡婦福祉会で勤務していた際、西小倉小学校へ進学する児童がおり、運動会の体験入学などを支援した。
- (構成員) 今後の入所児童の見込みはあるか。
- (応募団体) 藍島内には3歳未満児が数名いると認識しているが、現時点では保護

者の意向については把握していない。

- (構成員) 災害が発生した場合の対応はどのように考えているか。  
(応募団体) 海に囲まれているので津波の心配が一番大きいと考えている。避難場所については、まちづくり協議会とも協議をしており、小学校やサブセンターを利用することを想定している。

- 構成員は、提案概要のプレゼンテーション及び質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

【以下、意見内容】

- (構成員) 藍島保育所はいつから入所児童がないのか。  
(事務局) 令和2年度から休所している。  
(構成員) お子さんが1人でも入所したいという希望があれば対応するのか。  
(事務局) 入所の意向があれば対応することとなる。  
(構成員) 休所中であっても施設の維持管理をしていただきたいし、再開する際には、補修など必要な対応をしていただきたい。  
(事務局) 休所中の現在も定期的にメンテナンスを行っている。再開する際、手直しなどが必要な場合は適切に対応を行っていきたいと考えている。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

【以下、総合的な所見内容】

- ・運営にあたっては、行政や地域との連携が重要になってくるが、しっかりと対応できると感じた。
- ・入所の希望があった場合には、少ない人数でもしっかりと対応してほしい。
- ・実際に開所する際にはマニュアルなどを整え、十分な体制づくりをしていただきたい。
- ・離島の保育問題に取り組んでいると感じる。

- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。